

所管事務調査報告書

令和4年12月12日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

総務常任委員会
委員長 千葉 薫

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記

○所管事務調査その1

- 1 調査事項 小学校・中学校の現況について
- 2 調査日 令和4年11月8日(火)・9日(水)
- 3 出席委員 千葉委員長、今野副委員長、越前谷委員、大久保委員、五十嵐委員
- 4 説明員等 教育委員会 管理課 高橋課長
虻田小学校 小野島校長
虻田中学校 瀧澤校長、山本教頭
洞爺湖温泉小学校 柴田校長
とうや小学校 山下校長
洞爺中学校 西村校長

5 調査結果

本調査については、例年委員が学校を訪問し行っていたところですが、コロナ禍にあることから、役場第2委員会室を会場とし、各小中学校の校長・教頭に出席をいただき、次の事項について調査を行いました。

① 不登校児童・生徒の状況と対策は。

【小学校】

3校のうち1校が不登校に該当する事案があるとしているが、改善傾向となっている。情報を教師全員で共有するなどし、子供たちが安心できる学校づくりに努めている。

【中学校】

2校のうち1校にて不登校となっている生徒はいるが、減少傾向にある。アンケート調査や教育相談、スクールカウンセラーなどの力を借りながら改善に向けた取り組みを実施している。

② いじめ防止対策と現況は。

【小学校】

該当する案件が少数あったとする学校もあるが、現在は解消している。アンケート調査、教育相談を実施するとともに、全教員で情報の共有化を図るなど防止対策を含めた取組みを行っている。

【中学校】

数件の事案があるものの早期な対応や、未然の防止対策を図るなど、いじめ排除に向け全教員で取り組んでいる。

③ コロナ禍における学習及び集団活動において、問題点・懸案事項などは。

【小学校】

リスクを伴う活動は、継続して慎重に行うとともに、臨時休業への対策の一つとして、タブレットを利用した学習を進めている。家庭でのタブレットを活用したリモート学習も概ね軌道に乗っているところであるが、学校以外の公共施設への環境整備も必要となっている。

【中学校】

地域の感染状況を踏まえ、工夫しながら教育活動を進めている。また、保護者へユーチューブで学校の様子を配信するなどICTを活用した取組も行っている。

④ 今後の当町における学校集約などを踏まえて、どのような環境が子供たちにふさわしいと考えていますか。

【小学校】

各地域や保護者の意向を充分くみ取りながら、町づくりの政策と連動した教育環境の整備を進めて行くことが必要。

【中学校】

学校が地域の生涯学習推進の拠点となり、地域で子供を育む環境づくりが重要。

⑤ 防犯や交通安全の観点から気掛かりなことはありませんか。

【小学校】

登下校時の見守り活動の構築、校舎前道路の安全確保の取組が必要。また、近年は大雪となったこともあり、冬季間における学校周辺や通学路となっている歩道の除排雪が課題となっている。

【中学校】

下校時の交通安全指導等を実施しているが、学校運営協議会や地域の関係団体との協働活動も進めて行きたい。通学路の一部に街灯が少ない場所があり、生徒の下校が不安である。

⑥ 防災・減災について、学校ではどのような取組を行っていますか。

【小学校】

防災学習のほか、実践的な避難訓練を実施しており、警察・消防・火山マイスターを活用した学習も行っている。

【中学校】

避難訓練や、町内関係団体の協力を得ながら防災・減災に係る教育を実施している。噴火災害においては、有珠山を知ることなど大切なことを学ぶことも必要と考えている。

- ⑦ 学校運営において、保護者や地域の方々に協力をお願いしたい事がありますか。

【小学校】

登下校時の見守り、ふるさと学習への協力をお願いしたい。また、コロナ禍であることから、家庭内での感染対策の徹底をお願いしたい。

【中学校】

町教育委員会が行っている学校支援ボランティア活動への登録、登下校時の安全指導への協力を引き続きお願いしたい。

- ⑧ 老朽化が進んでいる施設が多い中、修繕等の対応はどうなっていますか。

【小学校】

概ね速やかな修繕対応をいただいているが、学校設備においては定期的なメンテナンスが必要なものもある。子供たちの安心・安全な教育環境の確保に必要なことであり、是非実施していただきたい。

【中学校】

修繕においては随時行っただけでいる。生徒には施設や道具を大切にしよう指導している。

各学校では、様々な課題がある中、教職員が一体となり課題解決に向けしっかり取り組んでいることをご説明いただきました。また、学校だけでは解決できない課題が多くあることもお聞きしました。その中でも、生徒・児童の登下校時の交通安全の取組みにおいては、町や地域住民の協力支援が重要となっている。